

平成30年度 相談支援従事者指導者養成研修プログラム

時 間	プログラム	時 間	講 師
8:30-9:30	受付		
9:30-9:45	開講式	15分	あいさつ：厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室長 三好 圭 諸注意等：国立障害者リハビリテーションセンター
9:45-10:45	1-(1)【重要事項の説明】 ① 今後の相談支援従事者研修について ・初任者研修及び現任研修の標準カリキュラム改定 ・主任相談支援専門員の創設および主任研修の実施 ② 本研修の位置付け（告示、要綱、プログラムの考え方）	60分 (質疑10分)	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室 相談支援専門官 大平真太郎
10:45-11:05	1-(2)【演習】目標設定 本研修を受講するに当たっての到達目標を話し合う	20分	【進行】
11:05-11:15	(休憩)	(10分)	
11:15-12:55	1-(2)【講義 1】 障害者の地域支援と相談支援従事者（サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者）の役割に関する講義（初任者：5時間 現任：4時間） ①相談支援（障害児者支援）の目的（1.5時間） ②相談支援（障害児者支援）の基本的視点（2.5時間）	100分	① 社会福祉法人西宮市社会福祉協議会 相談支援事業課 相談総務係 係長 玉木 幸則 ② 沖縄大学 人文学部 福祉文化学科 准教授 島村 聡
12:55-13:55	(昼食休憩)	(60分)	
13:55-14:55	1-(2)【講義 1】 障害者の地域支援と相談支援従事者（サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者）の役割に関する講義（初任者：5時間 現任：4時間） ③相談援助技術（1時間）	60分 (質疑10分)	③ 沖縄大学 人文学部 福祉文化学科 准教授 島村 聡
14:55-15:05	(休憩)	(10分)	
15:05-16:35	1-(3)【講義 2】 相談支援におけるケアマネジメントの手法に関する講義（初任者：3時間） ①相談支援におけるケアマネジメント技法とそのプロセス（1.5時間） ②相談支援における地域への視点（1.5時間）	90分 (質疑10分)	① 社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 自立支援部長 鈴木 智敦 ② 沖縄大学 人文学部 福祉文化学科 准教授 島村 聡
16:35-16:45	(休憩)	(10分)	
16:45-18:00	1-(4)【講義 3】 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法その他の法律に関する理解（初任者：3時間 現任：1.5時間） ①障害者総合支援法及び児童福祉法の理念・現状とサービス提供プロセス（1.5時間） ②障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支援（サービス提供）の基本（1.5時間）	75分 (質疑10分)	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室 相談支援専門官 大平真太郎

6月13日(水)

6月14日(木)

第二日目 新たなカリキュラムによる初任者研修 講義・演習			
9:00-9:50	2-(1) 【講義 4】 初任者研修のカリキュラム企画・運営上のポイントについて	50分	社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会 鶴ヶ島市生活サポートセンター 主任相談支援員 藤川 雄一
9:50-10:00	(休憩)	(10分)	
10:00-12:00	2-(2) 【講義・演習 1】 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術① (6時間) ○インテーク・アセスメント<本人中心の支援、関係性の構築、本人理解> 1) ロールプレイやモデル事例を基にした模擬面接等によるインテークと関係性構築 2) 情報の収集と整理 3) 本人像の把握とニーズの整理	120分	全体進行：社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会 鶴ヶ島市生活サポートセンター 主任相談支援員 藤川 雄一 演習進行：社会福祉法人唐池学園 貴志園 園長 富岡 貴生
12:00-13:00	(昼食休憩)	(60分)	
13:00-13:50	2-(3) 【講義・演習 1】 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術② (3時間) ○ゴール設定とプランニング ・アセスメントにより明確になったニーズへの支援を検討しサービス等利用計画の作成と地域資源へのアクセスと活用 ・サービス担当者会議の模擬演習によるサービス管理責任者等を中心に他機関等との連携の体験	50分	同上
13:50-14:00	(休憩)	(10分)	
14:00-14:50	2-(4) 【講義・演習 1】 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術③ (4時間) ○モニタリング・ターミネーション ・現状の支援への評価による利用者満足、新たなニーズの出現、ゴールの変化、他機関連携の状況確認 ・支援の終結 ・再アセスメント、再プランニング ○研修振り返り ○実習及び演習 2・3 の実施についてのガイダンス	50分	同上
14:50-15:00	(休憩)	(10分)	
15:00-16:15	2-(5) 【講義・演習 2】 実践研究①<実習課題に基づくアセスメントの検討> (6時間) ○アセスメント結果の検討 (事例検討の体験)	75分	同上
16:15-16:30	(休憩)	(15分)	
16:30-17:00	2-(6) 【講義・演習 2】 実践研究②<実習課題に基づく再アセスメント及び支援方針の報告と共有> (4時間) ○再アセスメント結果と支援方針 (サービス等利用計画案) の報告と共有 (ケースレビューの体験) 2-(7) 【講義・演習 3-1・3-2】 実践研究③④<ケアマネジメントプロセスの定着演習> (6時間) ○再アセスメントからプランニング	30分	同上
17:00-17:30	2-(8) 【講義・演習 4】 初任者研修 (企画・運営) の振り返り (2.5時間)	30分	同上

第三日目 新たなカリキュラムによる現任研修 講義・演習				
6 月 15 日 (金)	9:00-10:45	3-(1) 【講義5】 現任モデル研修全体プログラムの概要説明 3-(2) 【講義・演習5】 個別相談支援 (6時間) ○個別相談支援のポイントについての講義 ○個別相談支援の実施についてのセルフチェック ○個別相談支援についての事例検討 (演習)	105分	全体進行：社会福祉法人唐池学園 貴志園 園長 富岡 貴生 演習進行：社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会 鶴ヶ島市生活サポートセンター 主任相談支援員 藤川 雄一
	10:45-10:55		(10分)	
	10:55-12:25	3-(2) 【講義・演習6】 チームアプローチ (多職種連携) (6時間) ○チームアプローチのポイントについての講義 ○チームアプローチの実施についてのセルフチェック ○チームアプローチについての事例検討 (演習)	90分	同上
	12:25-13:25	(昼休憩)	(60分)	
	13:25-16:00	3-(3) 【講義・演習7】 コミュニティワーク (6時間) ○コミュニティワークのポイントについての講義 ○コミュニティワークについてのグループスーパーバイズ ○コミュニティワークについての演習 ※途中休憩有り	155分	同上
	16:00-16:10	閉講式	10分	相談支援従事者指導者養成研修検討委員会 委員長 鈴木 智敦 (社会福祉法人名古屋市リハビリテーション事業団 自立支援部長)